

## 履修単位様式

科目名	エンジニアリング・エシックス	英語科目名	Engineering Ethics
開講年度・学期	H27 年度 前期ないし後期	対象学科・専攻・学年	電気電子創造工学科 2 年 L R
授業形態	講義および演習	必修 or 選択	必修
単位数	1 単位	単位種類	履修単位 (30 h)
担当教員	金子間司 (非常勤)	居室 (もしくは所属)	電気電子創造工学科事務室
電話		E-mail	
授業の到達目標	授業到達目標との対応		
	小山高専の 教育方針	学習・教育到達 目標 (JABEE)	JABEE 基準
技術者倫理の基本事項について理解できること。さらにチーム毎に 事例研究を行い発表し、最後に演習報告書を作成すること。		②	
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
1. 技術者倫理の基本事項に関して中間試験と演習報告書で評価する。 2. チーム作業として、事例研究を行い発表する。(発表はプロジェクターを用いて行う) 3. 発表後、文章を書き加え各個人の演習報告書として提出する。 4. 各事例研究について学習シートを作成し、提出する。(学習シート作成要否は都度連絡) (期末試験は行わない)			
評価方法			
評価点は下記の配分により評価する。(合計 60 点以上の成績で達成とする)			
1. 中間試験 : 20 点、2. 発表資料+発表 : 35 点、3. 演習報告書 : 35 点、4. 学習シート : 10 点			
授業内容			
1. 技術者倫理とは ・技術者の役割 (技術者への期待) ・演習内容説明 (学習シートの作成、事例研究と発表について)			
2. 事例研究 (1) : チャレンジャー号事件 ・組織と技術者の立場、・技術者団体の倫理規定			
3. 事例研究 (2) : JCO 臨界事故 ・何が問題なのか、・技術者にできること			
4. 技術文章作成に関する基本ルール			
5. 製造者 (技術者) が注意すべきこと ・企業の倫理 (企業の社会的責任)、・製造物責任 (PL 法)			
6. 発表の基本 (発表資料の作成方法含む)			
7. 事例研究演習 (チーム毎に 2 週)			
8. 中間試験			
9. 事例研究発表演習 1			
10. 事例研究発表演習 2			
11. 事例研究発表演習 3			
12. 事例研究発表演習 4			
13. 事例研究発表演習 5			
14. 技術者の資格とは ・技術士制度			
キーワード	モラル、技術者倫理、工学倫理、製造物責任、技術者資格、技術士、PE、失敗学		
教科書	齋藤了文、坂下浩司「はじめての工学倫理」第 3 版 昭和堂 (2014)		
参考書	1. 杉本泰治、高城重厚「技術者の倫理入門」第 4 版 丸善 (2008) 2. 中島利勝ほか「知的な科学・技術文章の書き方」コロナ社 (1996) 3. 江川純「レポート・小論文の書き方」日経文庫 760 日本経済新聞社 (1998)		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目			
現学年の関連科目			
次年度以降の関連科目			
連絡事項			
シラバス作成年月日	平成 27 年度 2 月 27 日		